

3. 公共交通の現況

3-1. 公共交通の運行状況

3-1-1. 寒河江市内における公共交通の整備状況

寒河江市内には鉄道、路線バス、デマンドタクシーの公共交通機関が存在する。

JR 寒河江駅と隣接する寒河江バスターミナルを中心として、5 路線の路線バスが周辺市町へ放射線状に伸びている。

路線バスの空白地帯をデマンドタクシーが運行している。下河原・宝地区や本橋・高屋地区、陵南中学校周辺はバス路線から離れており公共交通が利用しにくい地域となっている。

路線バスの谷地－宮宿線の柴橋～松川地区のようにバス停の間隔が広い路線もみられる。

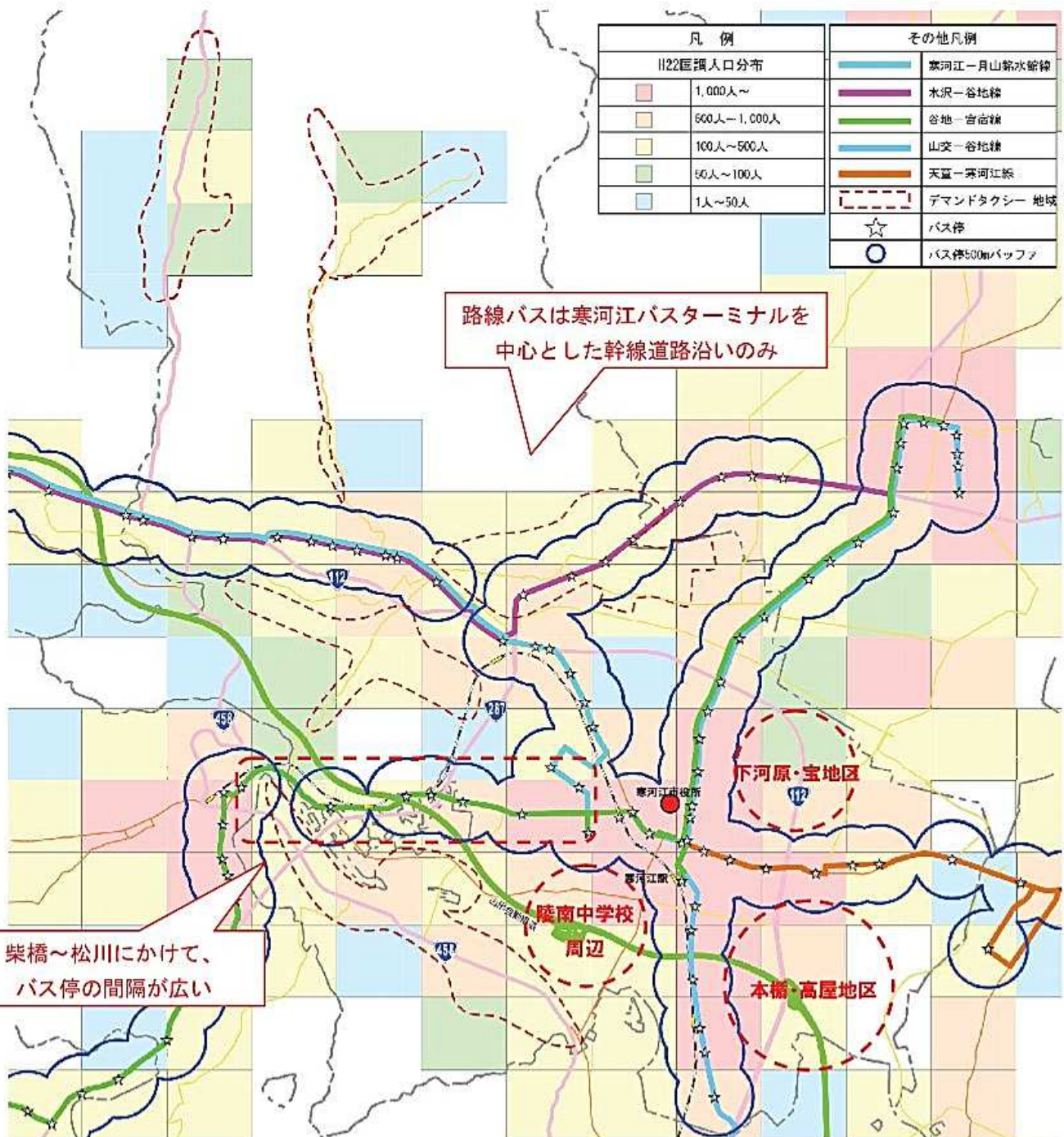


図 3-1 寒河江市の公共交通の整備状況

3-1-2. 路線バスの運行状況

路線バスは5路線のうち、4路線が山交バス、1路線が天童市営バスである。

最も便数が多い路線が山交-谷地線で、山形駅前から寒河江市内を経由し河北町までを結んでいる。

表 3-1 路線バス運行状況

| 種別 | 路線名 | 運行主体 | 運行委託先 | 運行頻度 | | 備考 |
|------|------------|------|-------|------|----|--------|
| | | | | 平日 | 土日 | |
| 路線バス | 寒河江-月山銘水館線 | 山交バス | 山交バス | 12 | 5 | |
| | 水沢-谷地線 | 〃 | 〃 | 1 | 0 | |
| | 谷地-宮宿線 | 〃 | 〃 | 14 | 8 | |
| | 山交-谷地線 | 〃 | 〃 | 48 | 25 | |
| | 天童-寒河江線 | 天童市 | 〃 | 13 | 13 | 日曜日は運休 |

表 3-2 路線バス運賃目安

| 路線名 | 発着バス停名 | 運賃 | 備考 |
|------------|--------------------|----------------|--|
| 寒河江-月山銘水館線 | 寒河江 BT~宮内 | 550 円 | |
| 水沢-谷地線 | 熊野~天満口 | 500 円 | |
| 谷地-宮宿線 | 寒河江 BT~松川 (大江町方面) | 350 円 | |
| | 寒河江 BT~下河原 (河北町方面) | 280 円 | |
| 山交-谷地線 | 寒河江 BT~皿沼 (山形市方面) | 240 円 | |
| | 寒河江 BT~下河原 (河北町方面) | 280 円 | |
| 天童-寒河江線 | 寒河江 BT~村山橋西 | 200 円 ※料金固定 | 高校生までの学生及び 70 歳以上の 高齢者や障害手帳所持者は 100 円 |

※主に寒河江中心部や始発地点から市町村境付近のバス停までの運賃を記載
(寒河江 BT: 寒河江バスターミナル)

3-1-3. 鉄道の運行状況

鉄道は山形市から寒河江市を經由し大江町まで結ぶ JR 左沢線がある。

上り方面は 19 便/日が運行し、おおよそ 1 時間に 1~2 便程度が運行している。

表 3-3 JR 左沢線（フルーツライン左沢線）運行本数

| 上下 | 平休 | 平日 | 休日 |
|----------------|----|----|----|
| 上り (山形方面行き) | | 19 | 19 |
| 下り (左沢方面行き) | | 17 | 17 |

表 3-4 JR 左沢線（フルーツライン左沢線）運賃表

[JR]左沢線(フルーツライン左沢線)運賃

| | 山形 | 北山形 | 東金井 | 羽前山辺 | 羽前金沢 | 羽前長崎 | 南寒河江 | 寒河江 | 西寒河江 | 羽前高松 | 柴橋 | 左沢 |
|------|-----|-----|-----|------|------|------|------|-----|------|------|-----|-----|
| 山形 | - | 140 | 190 | 210 | 240 | 240 | 320 | 320 | 320 | 410 | 500 | 500 |
| 北山形 | 140 | - | 190 | 210 | 210 | 240 | 240 | 320 | 320 | 320 | 410 | 500 |
| 東金井 | 190 | 190 | - | 190 | 210 | 210 | 240 | 240 | 240 | 320 | 320 | 410 |
| 羽前山辺 | 210 | 210 | 190 | - | 140 | 190 | 210 | 210 | 210 | 240 | 320 | 320 |
| 羽前金沢 | 240 | 210 | 210 | 140 | - | 140 | 190 | 190 | 210 | 210 | 240 | 240 |
| 羽前長崎 | 240 | 240 | 210 | 190 | 140 | - | 140 | 190 | 190 | 210 | 240 | 240 |
| 南寒河江 | 320 | 240 | 240 | 210 | 190 | 140 | - | 140 | 140 | 190 | 210 | 240 |
| 寒河江 | 320 | 320 | 240 | 210 | 190 | 190 | 140 | - | 140 | 190 | 210 | 210 |
| 西寒河江 | 320 | 320 | 240 | 210 | 210 | 190 | 140 | 140 | - | 140 | 190 | 210 |
| 羽前高松 | 410 | 320 | 320 | 240 | 210 | 210 | 190 | 190 | 140 | - | 140 | 190 |
| 柴橋 | 500 | 410 | 320 | 320 | 240 | 240 | 210 | 210 | 190 | 140 | - | 140 |
| 左沢 | 500 | 500 | 410 | 320 | 240 | 240 | 240 | 210 | 210 | 190 | 140 | - |

3-1-4. 鉄道と路線バスの乗り継ぎの状況

朝夕の通勤通学の時間帯では、寒河江～山形間において朝7時台に急行バスが運行しており通勤通学に利用されているが、鉄道とバスの乗り継ぎは一部に待ち時間が長い時間帯がある。

往路（朝）では5路線中4路線が35分以上の待ち時間が発生し、復路（夕）では3路線が1時間以上の待ち時間が発生する。

また、路線バスの最終便発車時刻が18～19時台の路線が多く、帰宅時刻によってはバスの利用が出来ないことも想定される。

往路（寒河江⇒山形）

| 路線名 | 寒河江BT着 (バス) | 寒河江駅発 (鉄道) | 寒河江駅での 待ち時間 | 【参考】山形駅着 (鉄道) |
|---------------------------|----------------|---------------|----------------|------------------|
| 山交ブルー谷地線 | | | | |
| 河北町方面から | 7:35 | 7:39 | 0:04 | 8:06 |
| 中山町方面から | 7:50 | 8:25 | 0:35 | 8:52 |
| 谷地－宮宿線 ※始発便 | | | | |
| 大江町方面から | 7:45 | 8:25 | 0:40 | 8:52 |
| 寒河江－月山銘水館線 ※始発便 | | | | |
| 西川町方面から | 7:43 | 8:25 | 0:42 | 8:52 |
| 天童・寒河江線(天童市営) ※始発便 | | | | |
| 天童市方面から | 7:17 | 7:39 | 0:49 | 8:06 |

復路（山形⇒寒河江）

| 路線名 | 寒河江駅着 (鉄道) | 寒河江BT発 (バス) | 寒河江駅での 待ち時間 | 【参考】山形駅発 (鉄道) |
|---------------------------|---------------|----------------|----------------|------------------|
| 山交ブルー谷地線 | | | | |
| 河北町方面へ | 17:58 | 18:20 | 0:22 | 17:29 |
| 中山町方面へ | 17:58 | 19:05 | 1:07 | 17:29 |
| 谷地－宮宿線 ※最終便 | | | | |
| 大江町方面へ | 17:58 | 18:15 | 0:17 | 17:29 |
| 寒河江－月山銘水館線 ※最終便 | | | | |
| 西川町方面へ | 17:58 | 19:20 | 1:22 | 17:29 |
| 天童・寒河江線(天童市営) ※最終便 | | | | |
| 天童市方面へ | 17:58 | 19:15 | 1:17 | 17:29 |

【参考】各路線バス最終便発車時刻

| 路線名 | 寒河江BT発 |
|----------------------|--------|
| 山交ブルー谷地線 | |
| 河北町方面へ | 21:05 |
| 中山町方面へ | 19:05 |
| 谷地－宮宿線 | |
| 大江町方面へ | 18:15 |
| 寒河江－月山銘水館線 | |
| 西川町方面へ | 19:20 |
| 天童・寒河江線(天童市営) | |
| 天童市方面へ | 19:15 |

資料：JR東日本HP、山交バスHP、天童市HP

3-1-5. デマンドタクシーの運行状況

寒河江市内には寒河江市が運行主体となり、公共交通空白地帯の5エリアでデマンドタクシーが運行している。

午前・午後合わせて1日7便運行しており、料金体系は市街地から比較的遠い幸生、田代エリアは500円、醍醐、谷沢、中郷エリアについては300円と設定されている。

寒河江市における公共交通空白地帯の定義

- ①小字単位でその地域の半分以上の区域が最寄の駅またはバス停留所より直線500m以上離れていること。
- ②500m以内であっても1級河川により分断されていること。

表 3-5 デマンドタクシーの概要

| | |
|--------------|----------------------------|
| 運行日 | 月曜日～土曜日(日曜日、祝日、1月1日～3日は連休) |
| 運行時間 | 午前の部：7時30分、9時、10時30分、正午 |
| | 午後の部：13時30分、15時、17時30分 |
| 利用料金 (片道) | 幸生・田代エリア：500円 |
| | 醍醐・谷沢・中郷エリア：300円 |
| 運行開始日 | 平成24年11月1日(本格運行) |

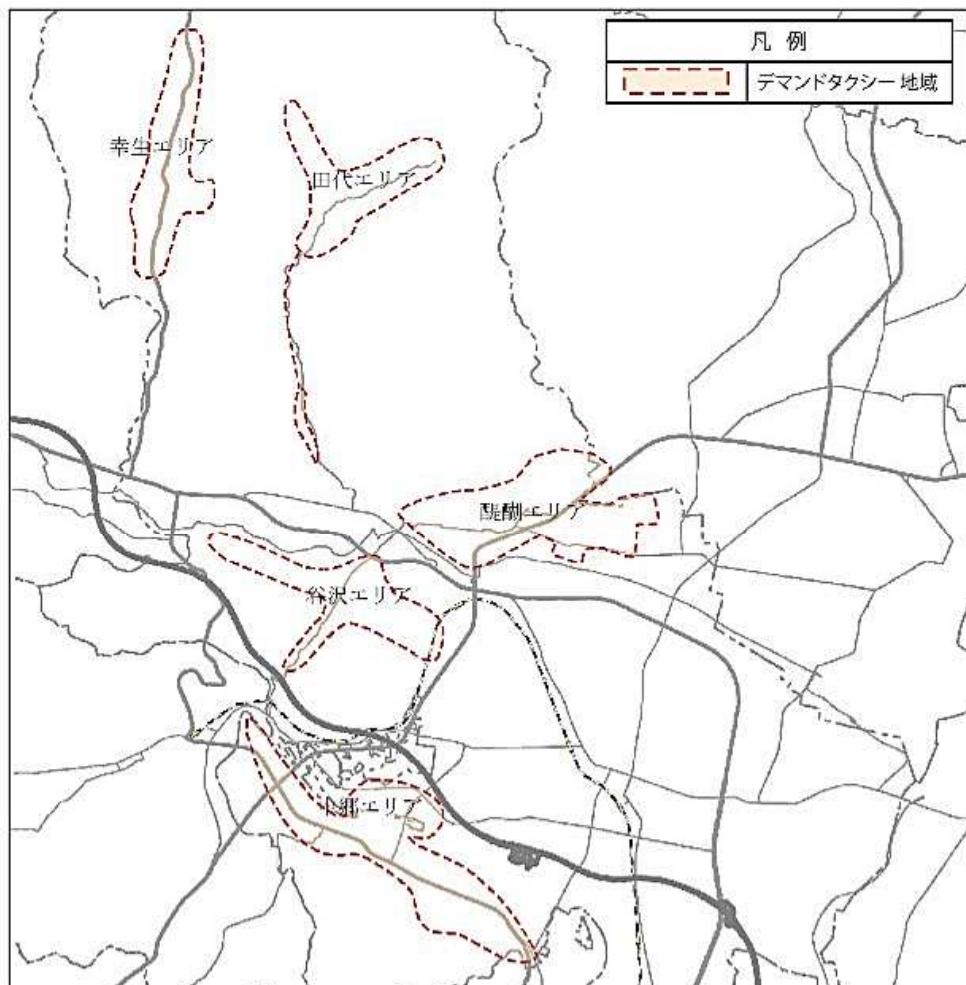


図 3-2 寒河江市のデマンドタクシー交通状況

3-2. 公共交通の利用状況

3-2-1. 路線バスの利用状況

(1) 利用割合

日常生活において路線バスを「利用している」割合は約 4.5%であり、9 割以上は利用していない。

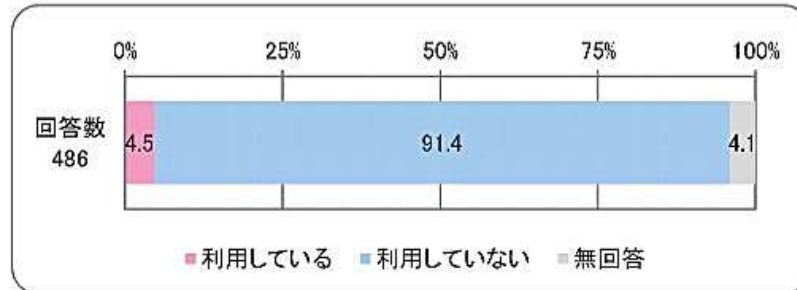


図 3-3 路線バスの利用割合

資料：1126.9 地域住民アンケート結果

(2) 利用者の年齢層（高校生除く）

日常生活において路線バスを利用している年齢層は 40～50 歳代が約 27%と最も多く、65 歳以上は全体の 48%を占める。

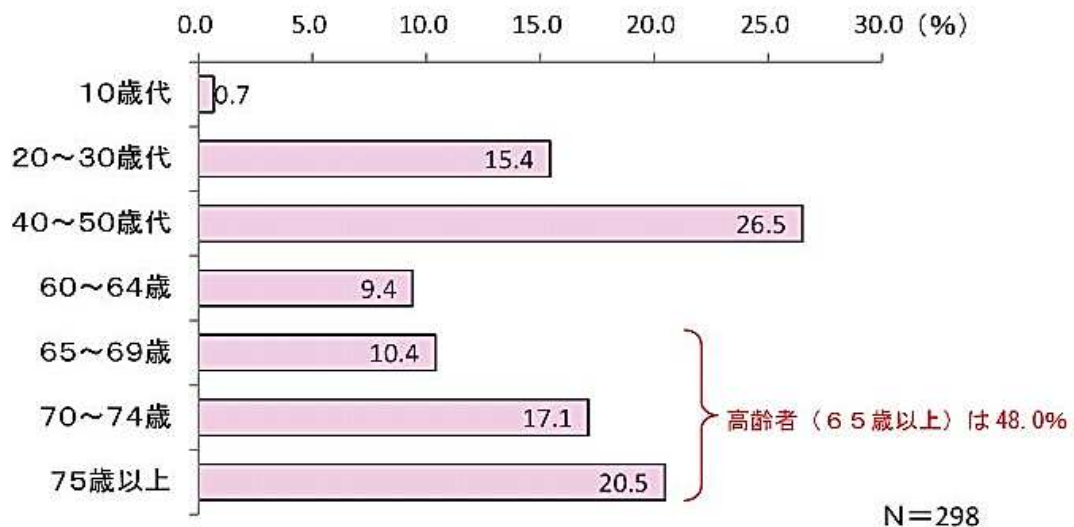


図 3-4 利用者の年齢層

※高校生は極力調査対象から除外。

無回答の票数はカウントせず、無効としている。

資料：1126.9 路線バス利用実態調査結果

(3) 利用頻度（高校生除く）

路線バス利用者のうち、週4～5日以上利用する高頻度利用者は全体の約18%、週1日以上の利用者では約41%である。

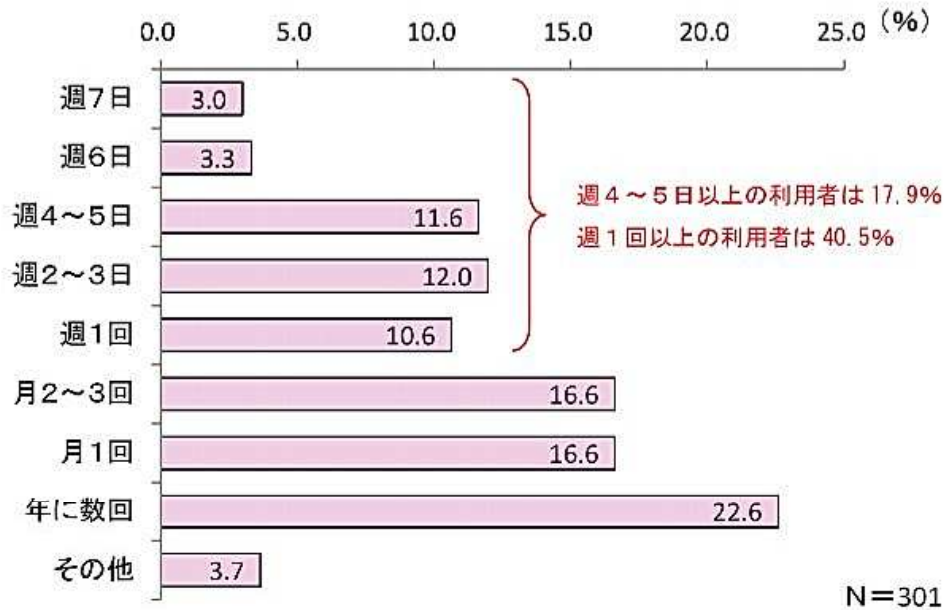


図 3-5 路線バスの利用頻度

資料：H26.9 路線バス利用実態調査結果

(4) 利用目的（高校生除く）

路線バス利用者のうち、「通院」を目的とした利用が約32%と最も多く、次いで「通勤」が約24%、「買物」が約20%となっている。

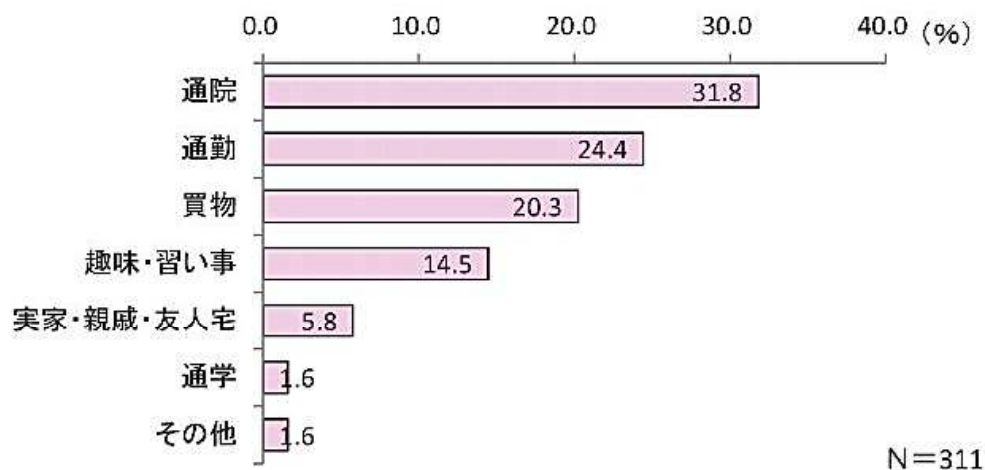


図 3-6 路線バスの利用目的

資料：H26.9 路線バス利用実態調査結果

(5) 施設別目的地（高校生除く）

路線バス利用者の目的地は、施設別では病院が最も多く、約48%と概ね半数を占めている。

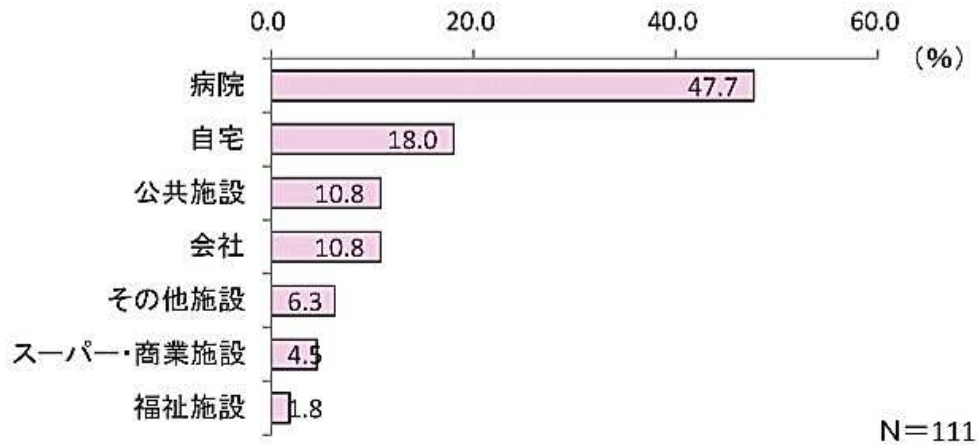


図 3-7 目的地（施設別）

※無回答の票数はカウントせず、無効としている。

資料：H26.9 路線バス利用実態調査結果

(6) 地域別目的地（高校生除く）

路線バス利用者の目的地は、地域別では山形市が最も多く約44%となっており、寒河江市内の約31%を上回っている。

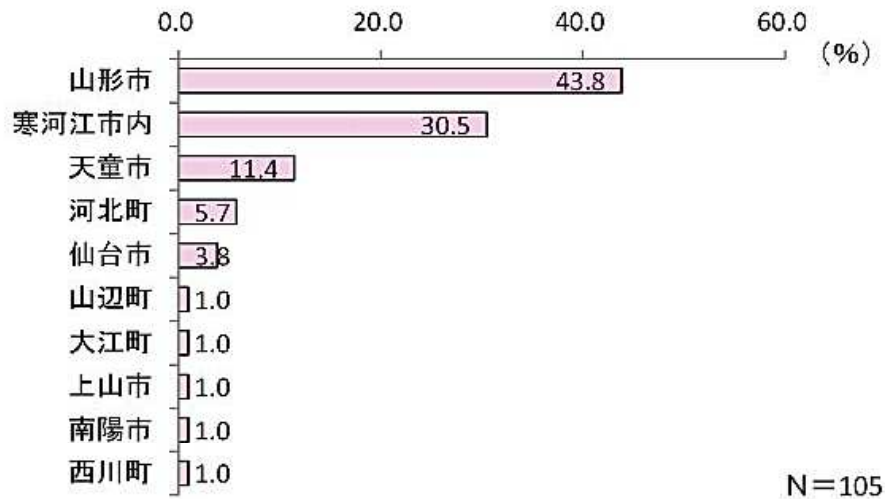


図 3-8 目的地（地域別）

※無回答の票数はカウントせず、無効としている。

資料：H26.9 路線バス利用実態調査結果

3-2-2. デマンドタクシーの利用状況

(1) 利用者数の推移

平成24年11月の本格運行開始以降、全体利用者は増加傾向にあり、平成26年6月期の利用者は521人である。(平成24年11月期利用者数422人 ※1.2倍増)

エリア別の人口に占める利用回数の割合は田代地区、幸生地区で高くなっている。

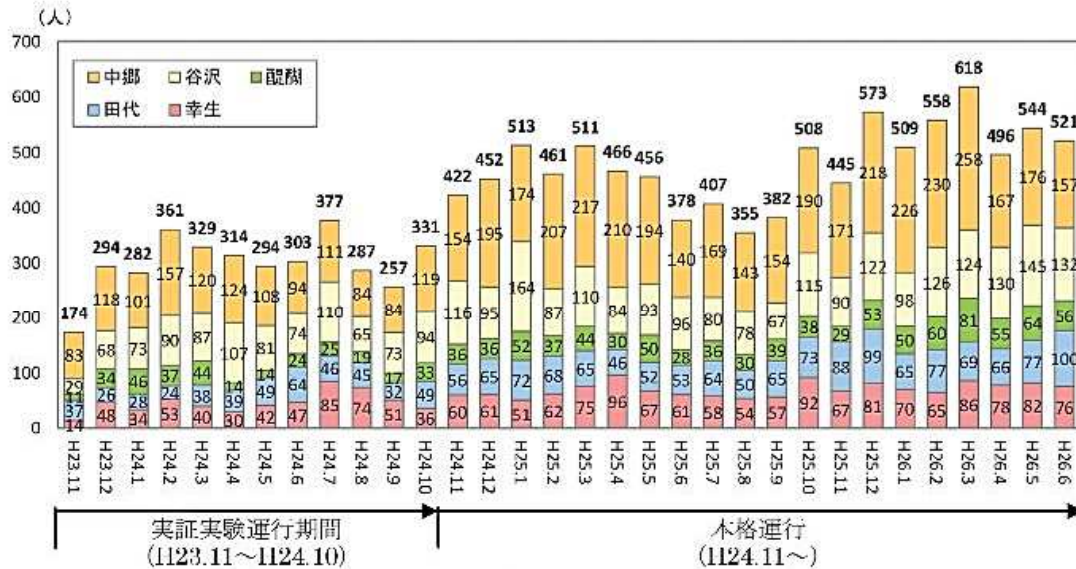


図 デマンドタクシーの地区別利用者数

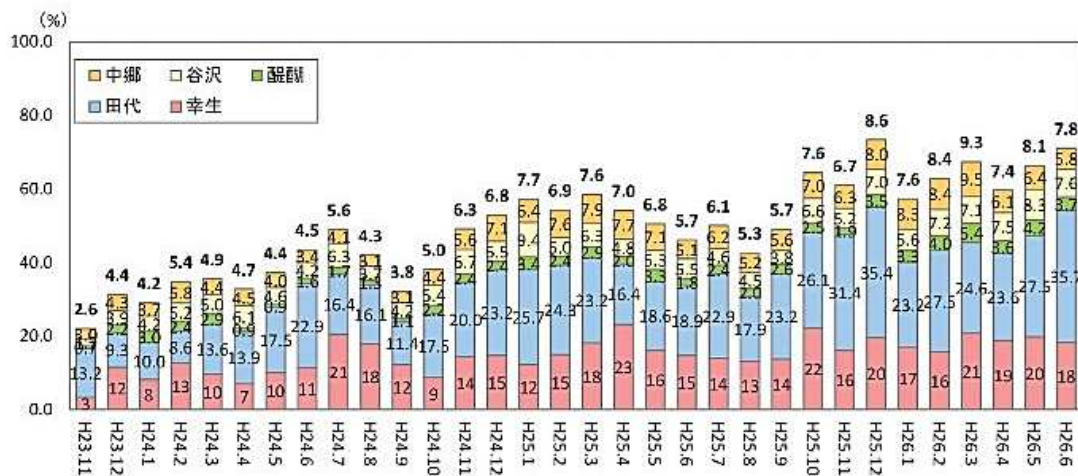


図 エリア別人口に占める利用回数の割合の推移

資料：寒河江市提供資料

(2) 利用目的

乗車及び降車場所で最も多く利用されているのは医療機関等の約76%であり、通院時の移動手段として利用されるケースが多く見受けられる。

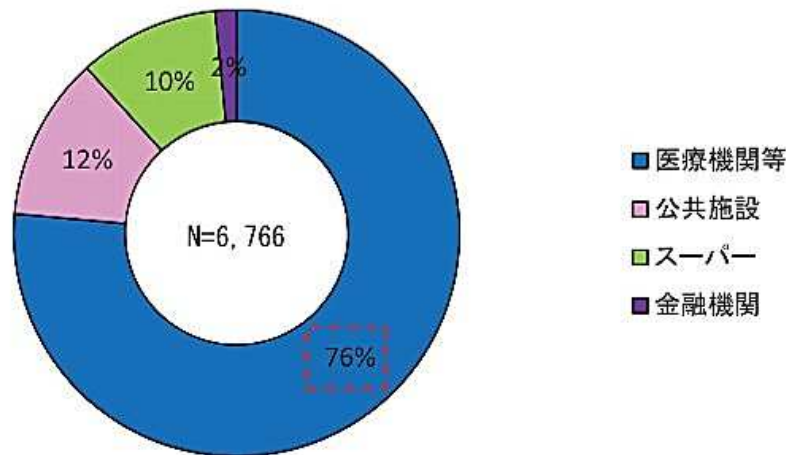


図 3-9 共通乗降場利用割合

資料：1124 デマンド交通アンケート結果

(3) 利用時間帯

利用時間帯は通院時に多く利用されることから病院の診療時間に合わせ、9:00 便が35%と最も多く、9:00～12:00 までの午前3便で約73%を占める。

最終便の17:30 便は利用割合が3%と最も低く、次いで始発便の7:30 便は6%と低い状況であり、朝夕の時間帯においては利用率が低い状況にある。

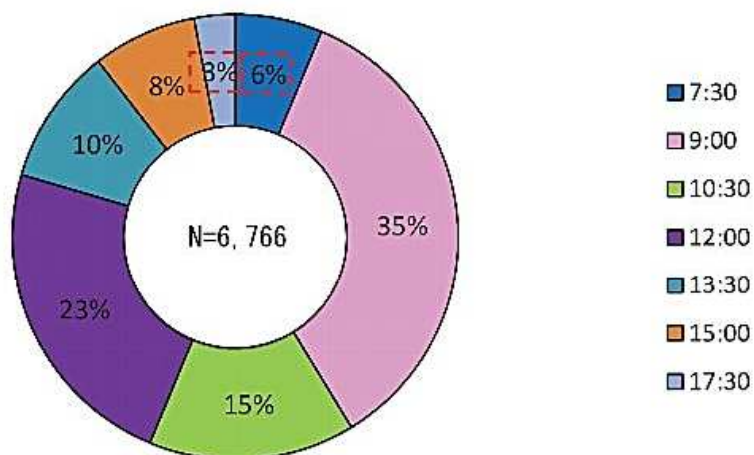


図 3-10 利用時間帯

資料：1124 デマンド交通アンケート結果

3-2-3. 家族による送迎の状況

家族の送迎を移動手段としている割合は買物時に約 10%、通院時に約 17%であり、「自分で自家用車を運転する」という回答に次いで高い結果である。

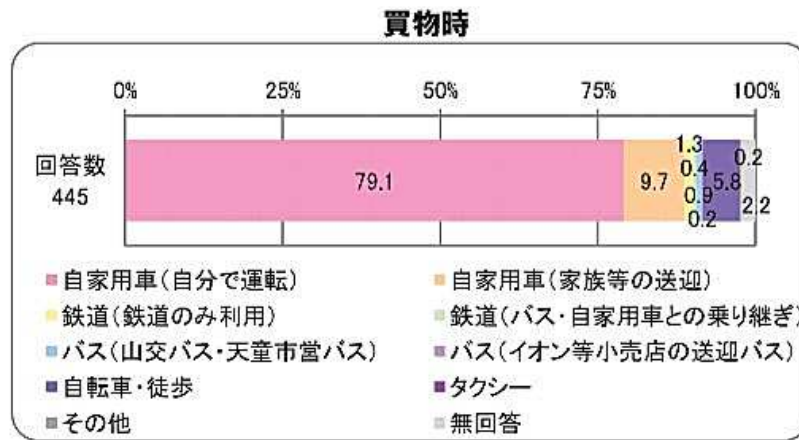


図 3-11 最も利用する交通手段（買物）

資料：1126.9 地域住民アンケート結果

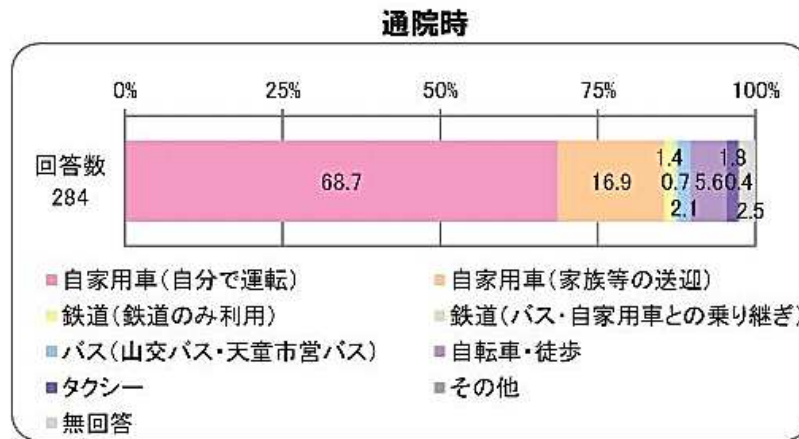


図 3-12 最も利用する交通手段（通院）

資料：1126.9 地域住民アンケート結果

3-3. 公共交通に対する寒河江市の財政負担状況

3-3-1. 路線バス

寒河江市では、山交バス「寒河江一月山銘水館線」、天童市営バス「天童・寒河江線」について運行経費の一部を負担している。

平成 25 年度には山交バスへ 6,622 千円/年、天童市へ 1,956 千円/年を支出しており、山交バスへの負担額は年々増加傾向にある。

天童市営バスについては約 2 割を寒河江市が負担しており、その負担額は横ばい傾向である。



図 3-13 路線バスにおける寒河江市負担額の推移

資料：寒河江市提供資料

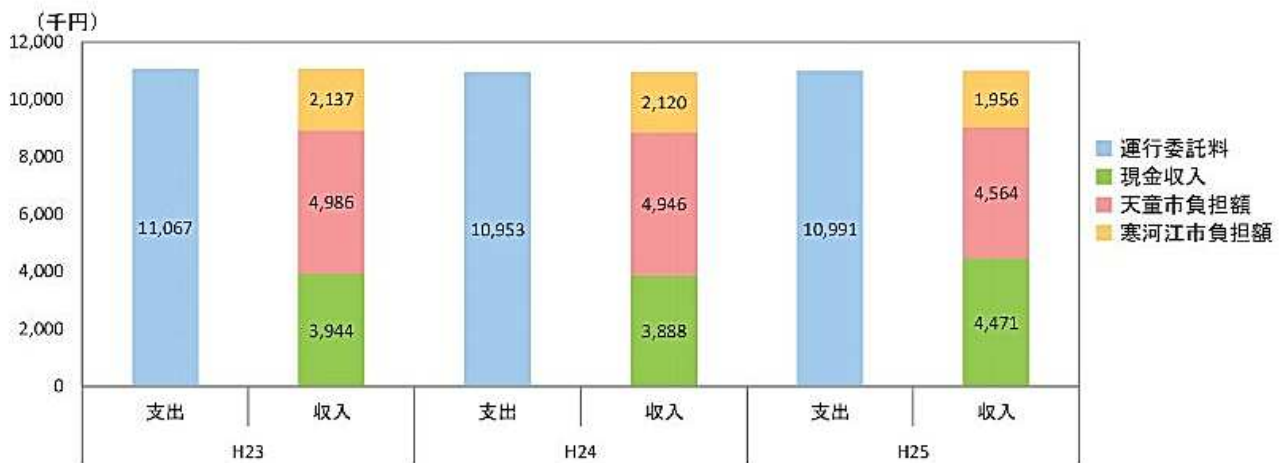


図 3-14 天童市営バスにおける運行経費の内訳

資料：寒河江市提供資料

3-3-2. デマンドタクシー

デマンドタクシーの運賃収入は運行経費の約2割程度であるため、残りの約8割は寒河江市負担額となる。

運行経費は利用者数の増加に伴い増加傾向にあり、それに伴って寒河江市負担額も増加しており、平成26年5月には673千円/月を負担している。(運行経費の約8割)

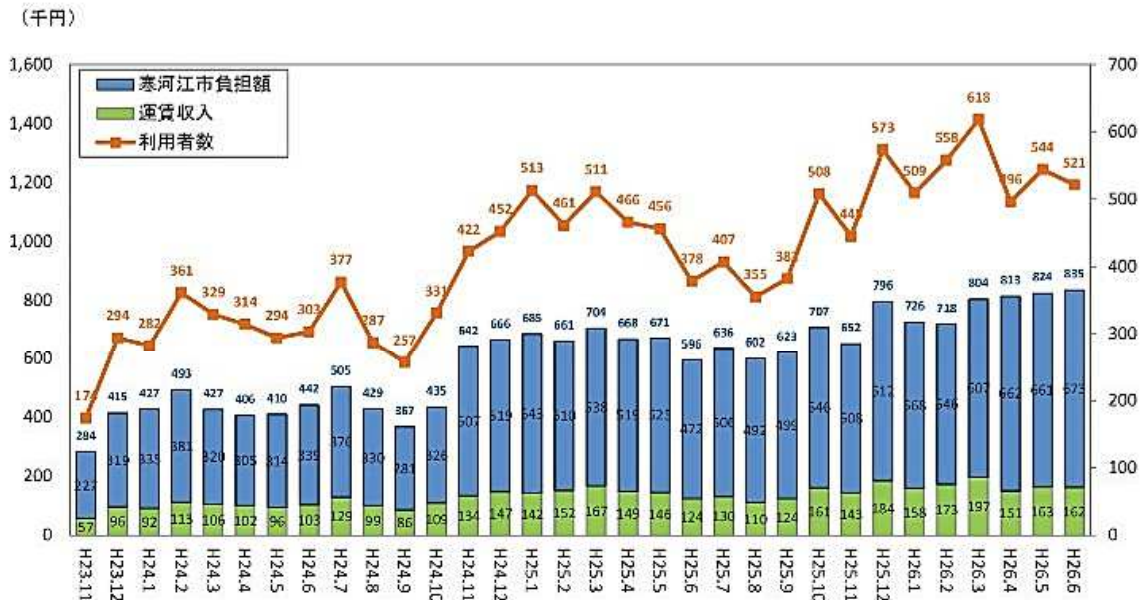


図 3-15 デマンドタクシーにおける運行経費の負担割合

資料：寒河江市提供資料

3-3-3. 負担額合計

路線バス及びデマンドタクシーの運行経費における寒河江市の負担額は平成25年度で14,975千円であり、デマンドタクシー運行開始の影響はあるものの、平成20年度に比べ約4.7倍に増加している。



図 3-16 公共交通における寒河江市負担額の推移

資料：寒河江市提供資料

3-4. 上位計画における公共交通施策の位置づけ

新第5次寒河江市振興計画（平成23年2月）では、新たな将来都市像「夢集い人・緑輝くさくらんぼの都市 寒河江」の実現を目指し、重点プロジェクトのうち安全安心「共助のさがえ」推進プロジェクトにおいて、運転免許返納高齢者や車を持たない市民の日常の移動手段の確保を図るべく、デマンド型交通の導入に向けて取り組むこととし、平成23年11月からデマンドタクシーの実証実験運行を実施している。

JRや路線バスの既存の公共交通機関の運行を維持しつつ、公共交通網の構築、利便性の確保、市民の利用促進を図ることとしている。

新第5次寒河江市振興計画（平成23年2月）における公共交通施策の概要

【基本構想】

（重点プロジェクト／安全安心「共助のさがえ」推進プロジェクト）

運転免許を返上する高齢者の増加が見込まれることから、車を持たない市民の日常の移動手段の確保を図るべく、デマンド型交通の導入に向けて取り組む

（第3章 暮らしに便利な都市基盤づくり／第1節 住みやすい快適なまちづくり／公共交通網の整備）

本市においては、JRや路線バスなど比較的公共交通機関に恵まれています。路線バスなどが運行されていない地域においては、自家用車が移動手段となっています。

市民アンケートにおける公共交通の便の満足度では、満足（やや満足を含む）16.8%に対し、不満（やや不満を含む）は32.1%と高くなっているほか、地域ワークショップにおいても、多くの地域から「今後高齢化社会の進展に伴い運転免許を返上する高齢者の増加が見込まれ、車を持たない市民に対する日常の移動手段の確保を図る必要がある」との意見が寄せられています。

これらをふまえ、JRや路線バスの既存の公共交通機関の利便性を確保し市民の利用促進を図るとともに、新たな公共交通の導入など市民に利用しやすい公共交通網の構築をめざします。

【基本計画】

（第3章 暮らしに便利な都市基盤づくり／第1節 住みやすい快適なまちづくり／公共交通網の整備）

既存の路線バスに対する補助を継続し路線を維持するとともに、車を持たない市民の移動手段を確保するため、路線バスが運行されていない地区においてデマンド型交通の実証実験を行い、その結果を検証しながら市民に利用しやすく効率的な公共交通を導入するなど、公共交通網の構築を図っていきます。また、JRへ利便性の高いダイヤ改正の要望を行うとともに、利用拡大に向けた啓発活動を行っていきます。

3-5. 公共交通に対する地域住民のニーズ

3-5-1. 現行体制への意見・要望

(1) 路線バスを利用する理由

路線バスを利用する理由として「バス停が近く、利用しやすい」が約55%と過半数を占めており、利便性の高さから利用するケースが見受けられる。

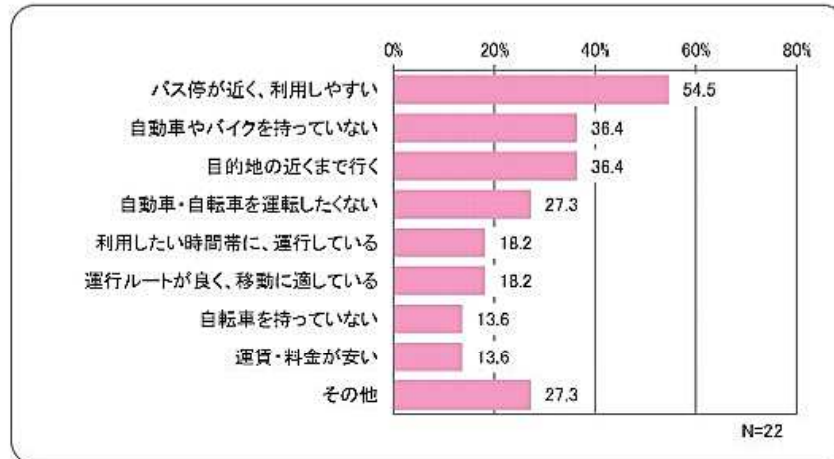


図 3・17 路線バスを利用する主な理由

資料：H26.9 地域住民アンケート結果

(2) 路線バス利用時の不便・不満

路線バスを利用時の不便・不満として「鉄道・バスとの乗り換え・接続が悪い」が約41%を占め、公共交通間での連携に対する意見が多くなっている。

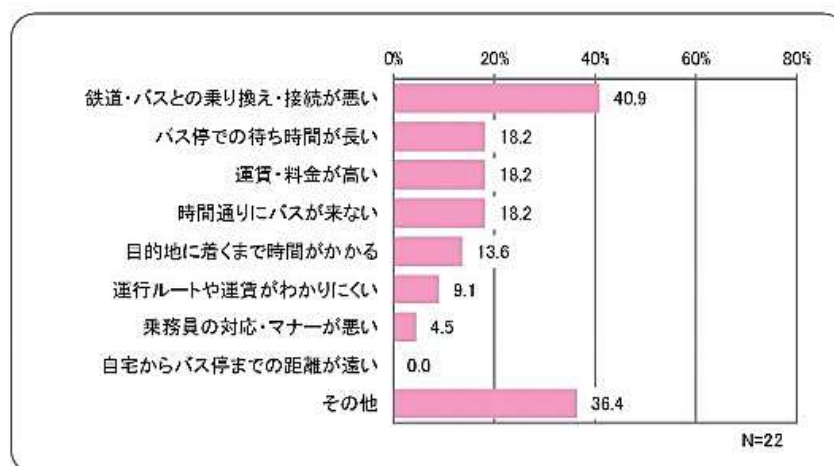


図 3・18 路線バス利用時の不便・不満

資料：H26.9 地域住民アンケート結果

(3) 路線バスを利用しない理由

移動手段として路線バスを利用しない方の利用しない理由は「自動車・自転車で移動する」が約91%と圧倒的多数を占めている。

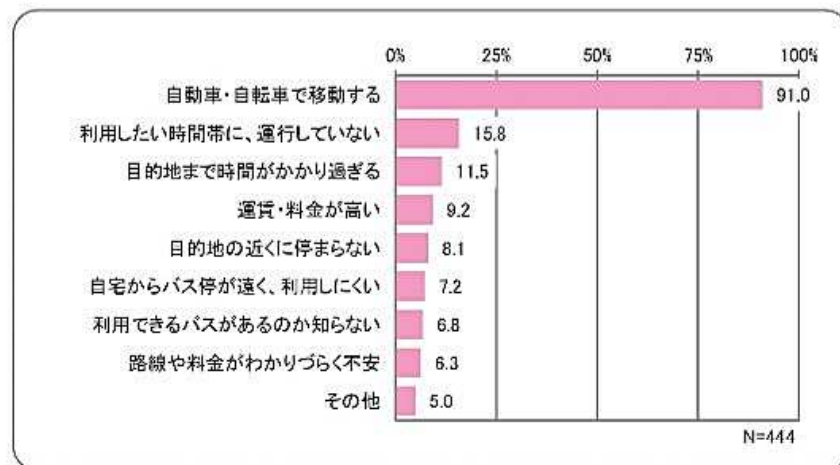


図 3-19 路線バスを利用しない理由

資料：H26.9 地域住民アンケート結果

(4) 利用していない人が求める改善点

「路線バスに改善がなされても自動車・自転車等を利用するため、バスは利用しない」と答えた割合は約55%であり、自動車・自転車に対する依存の高さが見受けられる。

バスの運行本数が多くなれば利用すると答えた割合は約19%であり、次いで運賃・料金が安くなれば利用すると答えた割合は約14%となっている。

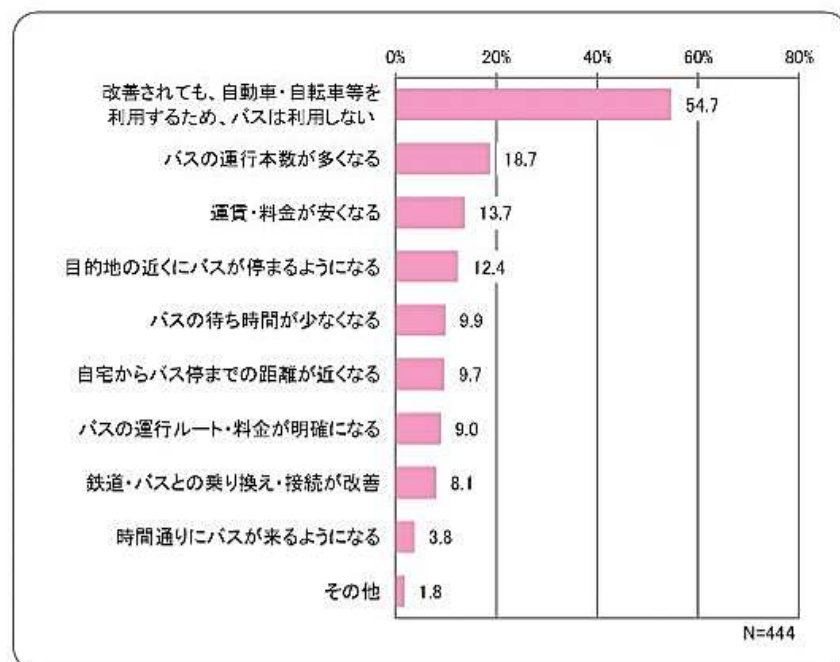


図 3-20 路線バスを利用するための改善点

資料：H26.9 地域住民アンケート結果

3-5-2. 今後の生活交通サービスへの意見・要望

(1) 自家用車で移動が出来なくなった際の交通手段

自家用車での移動が出来なくなった際の交通手段として、タクシーが約 51%と過半数を占め、路線バスは約 41%と 2 番目に高い割合となっている。

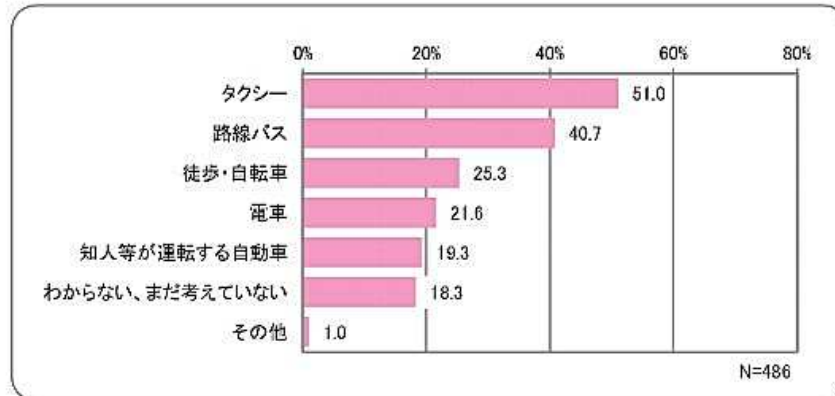


図 3-2 1 自家用車で移動が出来なくなった際の交通手段

資料：H26.9 地域住民アンケート結果

(2) 今後期待する公共交通サービス

今後期待するサービスとして、市内循環バス等の交通サービスが約 52%と最も多く、過半数を占めている。

次いでタクシー助成金等の助成制度の割合も約 51%と過半数を占めている。

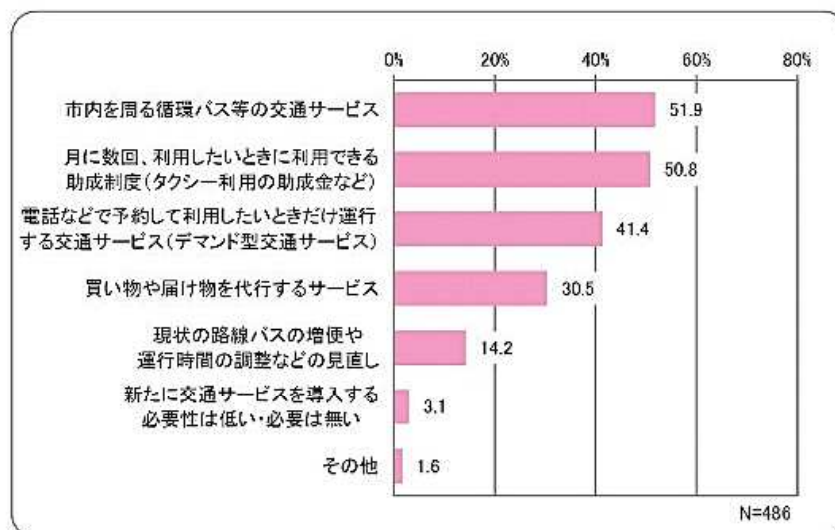


図 3-2 2 今後期待する公共交通サービス

資料：H26.9 地域住民アンケート結果

3-5-3. 地区別の意見・要望

浜河江市8地区において住民を対象に公共交通に関する意見・要望等のヒアリングを実施し、主要意見として以下の意見が上げられた。

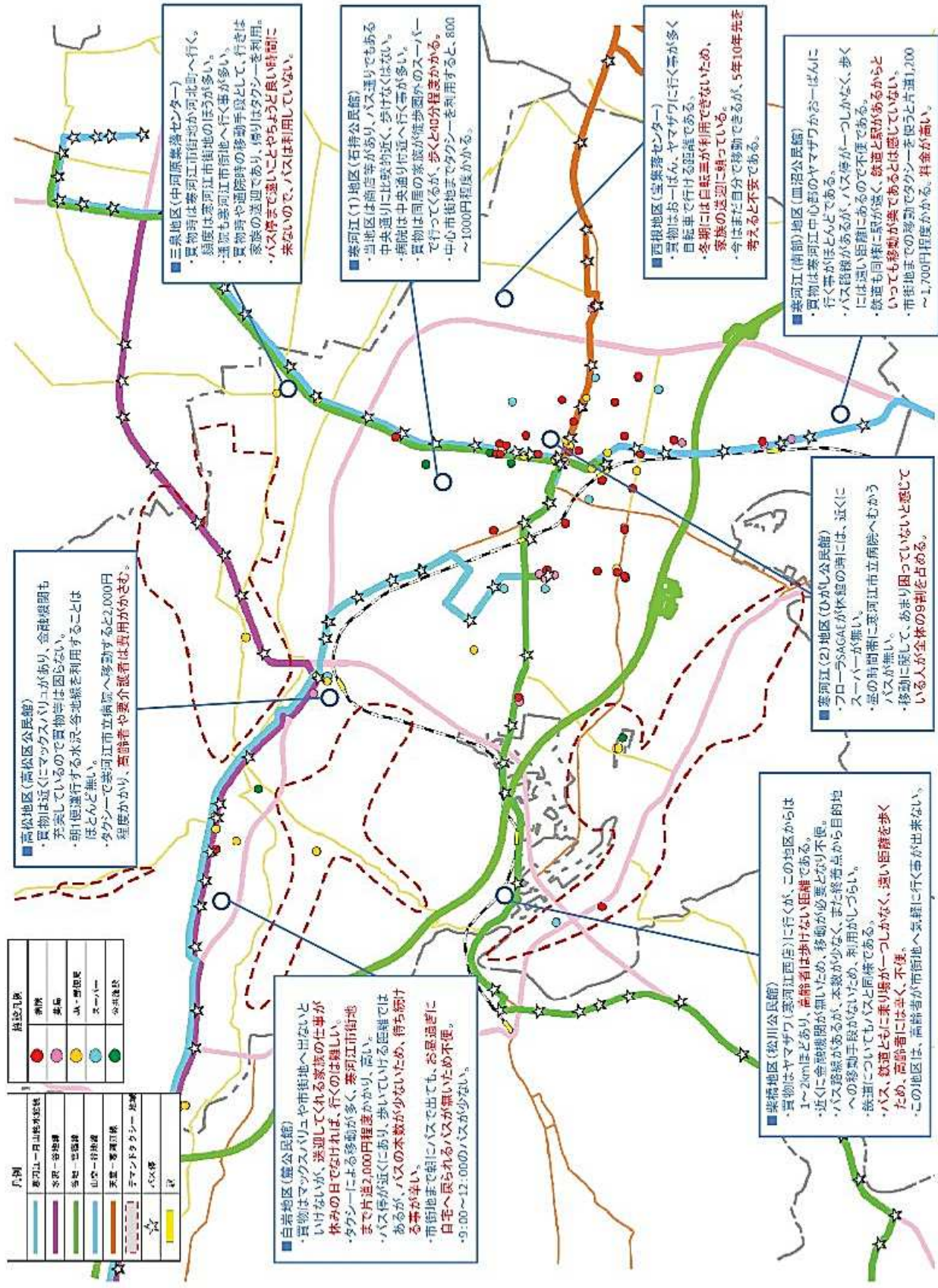


図 3-2-3 意見交換会 結果概要